

令和2年9月第5回松阪市議会定例会


請願文書表


受理番号	請願第2号
受理年月日	令和2年8月27日
件名	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書
請願者の住所及び氏名	松阪市嬉野町1430番地 松阪市PTA連合会 会長 浅沼 繁典 松阪市射和町557番地1 三重県松阪市小中学校長会 会長 前冨 敏文 松阪市小津町577番地3 三重県松阪市幼稚園長会 会長 丸口 典子 松阪市垣鼻町1528番地4 三重県教職員組合松阪支部 支部長 鈴木 史彦
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	橘 大介 殿村 峰代 栗谷 建一郎 楠谷 さゆり 深田 龍 山本 芳敬 中島 清晴 久松 倫生


子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の
拡充を求める請願書

提出 令和 2 年 8 月 27 日


松阪市議会議長 西村 友志 様

殿村峰代 


栗谷建一郎 


久松倫生 

山本芽敬 

深田 龍 

紹介議員

楠谷さゆり 

中島 清晴 

橋 大介 

提出者

三重県松阪市嬉野町 1 4 3 0

松阪市 P T A 連合会

会長 浅沼 繁 典



三重県松阪市射和町 5 5 7 - 1

三重県松阪市小中学校長会

会長 前 篤 敏 文



三重県松阪市小津町 5 7 7 - 3

三重県松阪市幼稚園長会

会長 丸 口 典 子



三重県松阪市垣鼻町 1 5 2 8 - 4

三重県教職員組合松阪支部

支部長 鈴 木 史 彦



2. 8. 27

000382

請願の趣旨

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度が拡充するよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

厚生労働省の「国民生活基礎調査（2019）」によると、「子どもの貧困率」は13.5%、およそ子ども7人に1人の割合で貧困状態にあるとされています。また、大人が1人の世帯の相対的貧困率は48.1%と、大人が2人以上いる世帯（10.7%）より著しく厳しい経済状況におかれています。

2020年3月に策定された「第二期三重県子どもの貧困対策計画」の基本理念にもあるように、「生まれ育った家庭の経済状況にかかわらず、三重の子どもが、必要に応じた教育支援、生活支援、親への就労支援等によって、夢と希望を持って健やかに成長できる環境整備が図られている状況」をめざさなければなりません。支援を必要とする子どもたちに対して、相談体制などを充実させるとりくみや、学校だけでは解決が困難な事案について関係機関と連携した支援をおこなうなどのとりくみが今以上に進められていく必要があり、貧困の連鎖を断ち切るための教育に係る公的な支援が、きわめて重要であると考えます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、アルバイトや保護者の収入が減り、学費を払えない学生・生徒に対し、政府は、大学等での修学の継続ができるよう、「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』を創設しましたが、すべての意志ある生徒が安心して教育を受けられるためには、就学・修学保障制度のさらなる拡充が必要です。高等学校等就学支援金制度において、2020年4月から私立高校等に通う生徒の「就学支援金」の上限額が引き上げられ、いわゆる「無償化」とはなりましたが、一方で、標準的な修業年限を超過した場合、就学支援金の対象とならない等の課題もあります。また、高等教育の修学支援新制度が作られ、改善・充実してきていますが、すべての大学・短大・専門学校が対象となっていないなど、制度のさらなる緩和・拡充を求めていかなければなりません。

貧困の連鎖を断ち切り、経済格差を教育格差に結びつけないために、就学・修学支援に関わる制度・施策のよりいっそうの充実が求められています。

以上のような理由から、すべての子どもたちの学ぶ機会を保障するため、子どもの貧困対策の推進と就学・修学保障制度の拡充を強く切望するものです。